

## 巻頭言

# 家畜を病気から守りましょう

惣 津 律 士

梅雨のあとに猛暑がやって来た。堪え難い昨今である。瀬戸内海の有名な夕なぎを毎年経験する私としても蒸暑い夏は苦手だ。而しこの酷暑が農作物に取っては恵みの天候である。今年も豊作であってほしいと願うのは私1人ではない。農家の皆さんの御健在を祈って止まない。

近年本県に見られなかった家畜の伝染病が本年は豚コレラと言う形で登場した。県の防疫陣が飼育者の協力に依って最小限度に蔓延を防止し得た事は不幸中の幸いであった。豚コレラが発生して見て、統計数字がいかに過少であるかが判明し、更に飼育者がこの機会に保健衛生の向上はもとより、組織の強化への心がまえを持つようになるという貴重な副産物が現われた。

たしかに家畜の保健衛生について一般飼育者は関心がうすく、伝染病が発生して始めて大変だと気づくのが通例である。健康な家畜から良質の畜産物が生産される事は申すまでもない。県内には26ヶ所の県営家畜保健衛生所があって、所員が日夜の区別なく、法の定める所に従って、懸命の努力を注いでいる。保健所を利用してられる方々からは限りない感謝の念で迎えられ、あまりに過労ではないかと心配して下さる方が多い。不十分な施設と器材、更に少数の員数で、機動力を使つての過激な業務に邁進している姿は、県職員としての奉仕とは言ふものの、たしかに尊いものであり、私は全国に誇り度いのである。県下の家畜の保健衛生の向上に献身する所員を更に心から可愛がって戴き度い。

感をいだかざるを得ない。よく増殖し、よく普及したものである。随って家畜保健衛生所管内の畜産の様相もその設立当時と比べて、それぞれ業務内容に変化が見られる。これに対処すべく所員は真剣な研修が必要となる訳である。

夏は家畜が疲労し易い。一方農家は極めて繁忙である関係から飼養管理がとかく粗雑になり勝ちである。私は二度と前記の豚コレラの如き伝染病が発生しないように、予防に飼養管理に十分に注意して戴き度く心から御願ひしたい。

5ヶ年前の家畜頭数と現在を比較する時に、隔世の